

篠養だより



「夢と希望を抱き 心豊かに たくましく生きる子の育成 ～ 明るく いきいきと ～」
 ◇丹波篠山市立篠山養護学校 ◇丹波篠山市沢田120-1 ◇tel 552-5237 ◇fax 552-6222
 幼稚部1名 小学部20名 中学部11名 高等部13名 計45名 早期発達支援室3名 総計48名 No.4

可能性は無限大(∞)!

～令和3年度「ささよう運動会」大成功!～

今週の月曜(5/31)、好天に恵まれ、令和3年度の「ささよう運動会」を開催しました。児童生徒会スローガン『明るく にこにこ 元気で 仲良く 楽しく がんばろう』のもと、この2週間、練習を重ねてきました。

今年の運動会は新型コロナウイルスの影響もあり、無観客で、しかも、開閉会式をオンライン、演技は学部別の入替え制にするなど、密を避け、形式や内容を大きく変更して実施をしました。従来の運動会と違い、最初は、子どもも職員も戸惑いましたが、高等部生が中心となってエール動画の作成を始め、職員がICT機器を駆使し、会場と教室をZoom(ウェブ会議アプリ)でつなぐなど、知恵を出し合い、工夫を重ねることで、少しずつ“ささようオリジナルの運動会”ができていきました。



【高等部演技「和心」の様子】

当日は、赤・白組作成のエール動画の視聴に始まり、続いて、児童生徒会長による“はじめの挨拶”、そして、各学部の演技へと移っていきました。心地よい緊張が流れる中、予定通りプログラムは進み、高等部代表の“おわりの挨拶”で幕を閉じました。演技中は、子どもたちの頑張る姿、成長した姿をたくさん見ることができました。できなかったことができるようになり、自信に満ちた表情を見せる子、仲間の頑張っている姿をみて頑張ろうとする子、友だちに駆け寄って手を差し伸べる子、随所に気遣いや優しさを感じられる、素晴らしい運動会になりました。と同時に、新たなものを生み出すことの苦労や大変さも実感できた運動会でした。何物にも代えがたい貴重な体験ができたことをとても嬉しく思っています。

後になりましたが、保護者、地域、関係者の皆様には、今年度、このような感染症対策を講じての運動会にご理解を賜り、あたたかく見守っていただきましたことに深く感謝します。子どもたちに、直接声援を送っていただくことはできませんでしたが、全校生、職員一同、皆様の思いをしっかりと受け止め、最後まで全力で取り組みました。今後は、運動会で得た学びを、これからの学校生活に生かしていく所存です。そして、一日も早いコロナ終息を願うとともに、来年こそは、全校生で取り組むささよう本来の運動会が実施できますことを願っています。引き続き、ご支援ご協力をお願いいたします。

学校園のリスク ～大切なのは緊張感のある信頼関係～

丹波篠山市では、6月を学校園の安全月間と定め、校園内外の危機管理体制を見直す機会としています。

『学校園の安全』は、子ども自らが身の回りにある様々な危険を回避して安全に行動したり、他人や社会の安全のために貢献したりできるようになることをめざす「安全教育」と、子どもを取り巻く環境を安全に整えることをめざす「安全管理」、そして、「安全教育」と「安全管理」の取組を円滑に進めるための「組織活動」の3つで構成されています。

新年度がスタートして2ヶ月。子どもたちもようやく学校生活に慣れてきた頃で、お互い気心も知れ、人間関係上のトラブルが多くなるのもこの時期です。毎年行われる「いじめアンケート」等の調査結果からも、年間を通じて最もいじめが多くなるのは5～6月、10～11月となっています。

アメリカのハインリッヒは、1件の重大な外傷事故の背景には、29件の比較的軽微な外傷事故(ヒヤリ・ハット事例)が発生し、さらに300件の外傷を伴わない事故が発生しているという、いわゆる「ハインリッヒの法則(1:29:300)」を提唱しました。数については未だ議論があるようですが、その理念が重視され、ヒヤリ・ハットの段階で原因を分析し、防止策を講じて全体で共有す

ることが必要とされています。

実は、昨年度、本校で怪我や事故が最も多かった月も、統計上6月（令和2年度学校保健安全委員会資料より）であることがわかっています。

私たちは、事故を未然に防止するために、平常時から常に危険を想定し、リスクの洗い出しと具体的な対応策の確認を行っておく必要があります。ヒヤリ・ハット(29)、もしくはその前の段階(300)で、組織として、いかに事故を未然に防ぐかがポイントになります。

大切なのは、具体策を打ち出し、それを実行に移す組織、つまり人です。そして、その組織になくはないのが「緊張感のある信頼関係」だと思っています。どんな組織でも、「緊張関係」がなくなると信頼関係は崩れてきます。これは、学校と保護者、地域、関係者の皆様との間にも同じことが言えると思います。

ぜひ、この機会に、私たちと一緒に『学校園の安全』について考えていただけると幸いです。また、いつでも、ご意見を聞かせてください。お待ちしております。

【リスクとは?】

- 安全を阻害する危険性のような好ましくない影響
- 目的に対する不確かさの影響

【リスクの洗い出しと具体的な対応策】

○リスクの大きさ＝F（発生頻度・起こりやすさ）×D（予想される影響）

※リスクの大きなものとは、F（frequency）とD（damage）の両方が大きいもの

※リスクの影響を受けるものは、子どもの安全・安心・学校組織の信頼・教育活動の維持

区 分		【平常時】（事態が発生していない時）	【予兆⇒有事】（事態が発生した時）
【内的要因】 ○学校事故 ○いじめ・不登校 ○体罰・セクハラ ○情報漏洩	F	《予防策》安全点検、安全措置 監視、コンプライアンス 等	－（エスカレート要因となる <u>他のリスク</u> を抑制）
	D	《軽減策》緩衝材施設、見守り 風通しの良い組織づくり 等	《危機回避策》早期発見・早期対応 →組織的対応
【外的要因】 ○風水害、地震等の 自然災害、熱中症 ○鳥インフル、新型コロナ 等の感染症 ○マスコミ	F	発生コントロール不可能	－（複合災害に至る <u>他のリスク</u> を抑制）
	D	《軽減策》耐震化、衛生対策 （マニュアル作成）、対応訓練 等	被害最小化・被害拡大防止策

※他にも、子ども職員の健康管理、食中毒、テロなど、考えられるリスクは限りなくあります。
※上表の波線部他のリスクについては、一度じっくりと考えてみます。

6・7月の主な予定 *新型コロナウイルスの感染状況により、変更になる場合があります

6 月	7 月
20日（日）「緊急事態宣言」解除予定	1日（木）食生活相談
21日（月）食生活相談	中学部作業学習
高等部現場施設実習（開始日）	SC 来校日 10:00～
24日（木）中学部作業学習	2日（金）丹波教育事務所
25日（金）高等部現場施設実習（終了日）	学校訪問指導 9:35～10:50
29日（火）委員会活動	6日（火）委員会活動
	シェイクアウト訓練10:25～
	8日（木）中学部作業学習
	13日（火）集会活動
	14日（水）進路ガイダンス
	ALT来校日
	個人懇談1日目
	15日（木）中学部作業学習
	個人懇談2日目
	16日（金）給食最終日
	19日（月）11:30下校
	20日（火）1学期終業式 11:30下校
	21日（水）夏季休業開始（～8/26）

高等部の皆さんへ

5日間の職場体験、頑張ってくださいね。

岸田郁夫先生の

お話より

（働く時に大切な事）

- ・人に好かれること
- ・がまんすること
- ・相談すること
- ・鏡をみること
- ・お金を大切にすること

